

南部

# シルバーエリア

老人福祉  
ふれあいタウン



(4/25 エリア大観桜会にて)



第 6 号

秋田県社会福祉事業団  
秋田県南部老人福祉総合エリア

つい先日まで、山々は白い頂を残していたと思ったら、日差しはもう夏、四季の移り変りの早さを感じます。

エリアも早いものでもう四周年、昨年の九月に老人専用マンション完成を最後にエリア全施設が完工しました。

今年も、本当の意味でのエリア元年と呼べるのではないのでしょうか。

ハード面が整い、今年はずフト面、より一層の内容面での充実を計画しておりますので、皆様の増々のエリアご利用をお待ちしております。

「この写真は、まだ少し肌寒さの残る春の日に行われた。エリア大観桜会の一コマです。」

# 新しい目標に向かって

エリアは昨年の十月老人専用マンションが完成し、当初計画されていた十三の施設全てがオープン致しました。今年度から、いよいよ地域の様々な社会参加、居住等総合的、複合的な施設として活用の段階に入ります。

エリアがこれから老人福祉の先導的役割を担う施設になり得るか否かは、今後の計画と実行にかかっていると

思います。そこで、私たちは平成四年度をエリア元年と認識し、創設の目標である次の五つのことを基本的事項として定め、これを達成するため毎年度関連した事業をすすめることとし、平成四年度は次の新しい事業と取り組むことに致しました。

## 【基本的事項】

- 一、在宅福祉の拠点として位置づける。
- 二、保健と医療と福祉の一元的なサービスの提供。
- 三、質の高い居住の提供。
- 四、世代間交流と生きがい

・健康づくり。  
五、地域ボランティアの振興。

一の在宅福祉については、介護センターの利用者は年々増加しており、施設機能をメニユー化した利用者へのサービスの提供、在宅福祉のため市町村で行う諸行事への施設機能の提供、人材の派遣等を行います。

二の保健、医療、福祉の一元化的サービスは、従来の福祉、保健相談室を、「なんでも相談室」として保健婦のほか、各施設の指導員を加え、どんな相談にも応じられることにしました。

三の質の高い居住については、養護老人ホーム、ケアハウス等、全室個室ですが、さらにソフト面の充実で快適な生活ができるようにすることです。

四の世代間交流や生きがい、健康づくりは、講座、教室の内容の充実を計り、周辺町村だけでなく広くエリアの機能

を利用してもらうため、PRが必要であり、「広報普及員」が訪問活動をするという制度が発足しました。

五のボランティアの振興は、昨年エリアで活動していたボランティアは、延二千人を超えました。今年度はこのグループ化をはかります。どうぞ今後もよろしくご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(管理者 藤原)

## エリアにてのボランティア活動

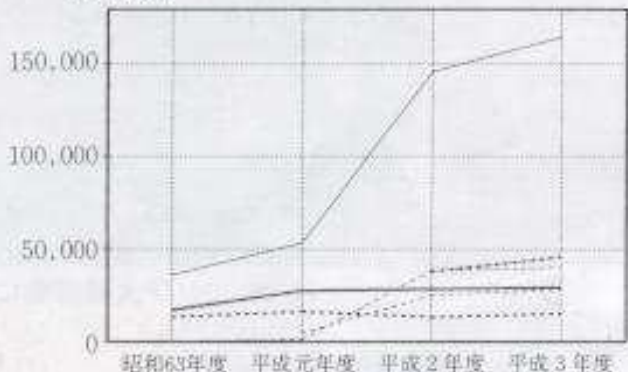


## コミュニティセンター利用状況

昭和六十三年以降順次オープンしたコミュニティセンターの施設利用者は、六十四年の「屋内運動広場」「生きがい創作館」、平成元年の「温水プール」、平成二年の「子どもと老人のふれあいセンター」オープンで増加し、平成三年度においては十六万人を越える盛況ぶりです。プール利用者は年間約二万人、有料休憩者も約二万人となり、平成四年度現在においても増加の傾向にあります。

コミュニティセンター利用実績

(単位：人)



— 総合計  
— 休憩  
--- プール利用  
--- 視察利用  
--- 屋内運動広場  
--- ふれあいセンター

	昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度
— 総合計	35,952	53,556	146,068	164,746
— 休憩	17,233	27,660	28,392	29,255
--- プール利用		4,892	25,066	28,034
--- 視察利用	13,418	16,551	13,457	15,399
--- 屋内運動広場	553	1,233	38,350	39,207
--- ふれあいセンター			38,099	46,090

# 医療と健康

## 糖尿病について

診療リハビリセンター長  
藤本博道 医師

糖尿病は、インスリン欠乏または、作用不足により、高血糖、尿糖、高脂血症などのさまざまな代謝障害を生じるとともに、血管障害(網膜症、腎症、動脈硬化症)や、神経障害に代表される慢性合併症を呈する疾患です。

この病気は、戦後急激に増加し、患者数は約200万人と推定され、戦後直後の約25倍にもなっており、糖尿病の平均寿命は64才で、日本人平均寿命より15才も短くなっています。糖尿病性網膜症は、後天性失明の第1位であり、腎透析患者でも、糖尿病は約25%を占めています。このように、日本において、糖尿病が増加し続けてきたのには、4つの要因が影響しているといわれています。

それは、①過食、過飲と食生活の欧風化 ②都市化、機械化による運動不足 ③公衆衛生の向上と高齢化社会 ④複雑な社会機構とストレスの増加……以上の4つが、互いに関連して、糖尿病の発症を促進しています。

また、臨床的には、4つのタイプに分けられます。すなわち、①インスリン依存型 ②インスリン非依存型 ③栄養失調型 ④その他のタイプです。

栄養失調型は、低栄養に起因し、わが国にはないとされておられ、わが国で圧倒的多数を占めているのがインスリン非依存型で、40才代で特に急増しています。

治療に関しては、原則的にインスリン作用の不足を解消することにあります。そのためには、1日の総摂取エネルギー量を適正にすることと、その範囲内で、栄養上のバランスをとるといふ食事療法と、これにプラスして運動による生

理効果、すなわち、体力の維持増進を図るとともに、これを血糖のコントロールや、動脈硬化の予防に応用するといふ運動療法が、2つの基本治療法です。薬物療法は、小児や青年糖尿病の大多数を占めるインスリン依存型糖尿病では、インスリン注射が行なわれ、インスリン非依存型では、食事療法と運動療法がまず行なわれ、それで不十分な場合に、薬物療法が行なわれます。

糖尿病は、日常生活の注意において、ある程度まで、発病の予防が可能であり、食事など、成人病の予防のライフスタイルに心がけることが、必要です。



### 秋田県南部老人福祉総合エリア施設設備利用料金表 (平成4年4月1日改定)

区分	利用の単位	利用料	
		夏期 (5月~10月)	冬期 (11月~4月)
浴 泊	小学生	2,060円	2,260円
	一般	2,700円	2,900円
休 憩	小学生	260円	460円
	一般	530円	730円
休憩回数券 (6枚券)	小学生	1,290円	券1枚使用毎に2.0円加算
	一般	2,700円	
会議室	1時間につき	1,100円	1,300円
	研修室	1時間につき	1,100円
視聴覚室	1時間につき	1,100円	1,300円
	屋内ゲートボールコート	1時間につき	400円
テニスコート	1時間につき		400円
	屋内プール	一般	1回につき
高校生		(1回目 10:00~13:00)	400円
3歳児から中学生まで		(2回目 13:30~16:30)	200円
屋内プール回数券 (6枚券)	一般		2,500円
	高校生		2,000円
	3歳児から中学生まで		1,000円

また、プール利用時間(2回目)は5月から10月までは13:30~17:00です。

### 2. 設備使用料

区分	使用の単位	使用料
16ミリ用映写機		2,500円
ステイジ用映写機	一式につき	550円
オーバーヘッドプロジェクター		550円
ビデオテープレコーダー	一台につき	550円

### コミュニティーセンター 新任職員紹介

今年の4月より、エリアコミュニティーセンターに新しい職員が着任しました。皆様に愛されるエリアを目指し頑張りますので、見かけたら気軽に声をおかけください。



## ～ 活き活き学園開講式～



去る、5月16日(土) エリア新館大広間にて、平成4年度の「活き活き学園」開講式が盛大に行なわれました。

約百五十名の学園生が見守る中、藤原忠学園長あいさつ、阿部勝行大森町長祝辞と続き、伊藤武三講師による第一回語りを聞く会、演題は「ハーモニカで綴る昭和史」が語られました。巧みな話術と郷愁を感じさせるハーモニカの音に目頭をハンカチでおさえる人もチラホラ。

今年度から「なつメロ教室」も新設され、増々、にぎやかになります。皆さんも一度活き活き学園に参加しませんか、見ているだけじゃダメですよ!!

## コミュニティセンター

# 散策路

### 軽費老人ホーム(ケアハウス)

### 養護老人ホーム

5月28日には、我が町大森の探訪を行いました。これは地域を知り、文化と自然を楽しむことを目的に実施されたものです。

リゾート・ゾーンや、少年自然の家、仁王門、それに国重要有形文化財神楽殿など、名所旧跡をめぐり地域と文化にふれ、また、保呂羽山では、わらびやふきなどの山菜採り

ケアハウスでは、これまで毎月恒例の、おたのしみ会をはじめとし希望者による日帰り旅行、また季節行事や地域との交流など様々な行事を体験してきました。

5月15日、平鹿町民体育館にて、県南養護老人ホーム五施設合同運動会が行われました。皆お揃いのトレーニングウェアを身につけ、優勝を目指し出かける。豆を箸で皿に移す「鳩ばっば競争」、空き箱をほうきで押す「ゆとりで走ろう秋田県」、「玉入れ」等競技に出場する。応援する方も選手に続けとばかりに熱が入る。童心に返り、大声を上げ声援を送る。答えて選手の方も、無我夢中になって頑張りました。

その成果もあつてか、昨年より順位が上がって大喜び。



や、山野草観賞を楽しみました。



身体を動かして、楽しい楽しい一日を過ごしました。

4台のバスは一路、保呂羽山少年自然の家キャンプ場をめざします。

5月11日(月)は、朝から好天に恵まれました。

エリアを出発して、20分程でキャンプ場へ到着。

早速昼食、自然の中で食べる豚汁とおにぎりの味は、また格別。

昼食後は、山菜取り、散策、のど自慢と、あつという間の2時間でした。

6月はあやめ見物、7月はエリア夏祭り、9月は敬老会と楽しい行事は、まだまだ続きます。

来所される幼稚園児、保育園児、各種団体の子どもさん達が満足して帰られるためのひとつとして、平成3年度より人形劇「ふれあい座」を結成した。第一回目公開「しよじよ寺の狸ばやし」第二回目「だれがいちばんえらいのか」第三回目は「まいごのうさぎさん」の演出効果に力を入れている目下です。

こられる人をあたたかく、行かれる人にまたどうぞの合言葉の中に職員一同親切な心での対応に頑張っております。皆さんいつでも、お話し、紙芝居、マジック、腹話術、人



形劇とご用命下さい。



子どもと老人のふれあいセンター

シルバーケアセンター

# エリア

診療リハビリセンター

白 寿 園

「ガッレノガンパレノ」の応援のもと、先日第16回交流輪投げ大会が行なわれました。

この大会は、年2回特養ホーム雄水苑と行なわれているもので、今回は雄水苑が会場となりました。

参加選手の中には大会が近づくと、朝昼晩と食事の前に必ず練習を行うお年寄りもいて、なかなかの盛り上がりです。

結果は残念ながら準優勝となりましたが、個人戦では優勝に輝きました。対戦後は、お茶を飲みながらの交流会と

今年度から診療リハビリセンターの相談室の充実をはかり、保健と医療と福祉の一元的提供や、在宅福祉の拠点としての役割をなす為、保健福祉の「なんでも相談室」と改称しました。

従来は、保健婦、看護婦、ドクターでいろいろな相談を受けてきましたが、これからは、各施設の指導員やPT等も加わり、どんな相談にでも応じられることとなります。

エリアに居住している方は、勿論ですが、在宅での介護の方法や、健康チェック等、なんでも気軽に相談にきてくだ

なり、秋にはきつと団体戦でも優勝すべく熱い思いを胸に残したまま雄水苑をあとにしました。



さい。





▲精神統一（陶芸）



▲作品の出来上りが楽しみ（木彫）



▲どこに植えようかな？（いきがい農園）

▶若さは水泳で

▶なつメロでストレス解消

## 生き生き学園生募集

心豊かに、楽しく、充実した生活を  
すごしませんか

### ◎創作活動コース

- 陶芸●木工●民芸●食品加工
- 切り絵

### ◎健康活動コース

- 大極拳●ゲートボール●水泳
- バターゴルフ

### ◎趣味活動コース

- 華道●書道●茶道●コーラス●踊り
- なつメロ

### ◎講座講演コース

- 語りを聞く会●健康の話聞く会

※申し込みはエリア企画指導課(26)3880、町教育委員会(26)2111まで。

